D

0

國立

日

外交事が観響さなり沖北、総議、一事となったのでこれ等東北の外交。意思外交特派員公庫は最近東北の一察哈爾が東北の統轄下に置かれる

北交渉署と改稱

9

行南京 會議

する第二回會議をなすためである。 【上海十七日餐】 動光代理公使は言野委鼠、糲内、鳳幡殿青記筒な際同じて今夜十一時餐前息に購く 八米三國口協調 公使は二十日南下

濱口首相

けふ登院

一度は多分決ら

問題

t

始する智・を設けたが四月一日から検査を開い

意識のあることが、 の機管 東支鐵幹部は先ろ瞬間氏 の物膜・瞬音のからにはによる にあり、そのためには除するからには にあり、そのためには保はまて を東文公文書に際支配部は先ろ瞬間氏 の機管 東支鐵幹部は先ろ瞬間氏 のから莫全種の勢が第一條件、 にあり、そのためには保はまて でするが第一條件、 により翻訳が第一條件、 により翻訳が第一條件、 により翻訳が第一條件、 により翻訳が第一條件、 により翻訳が第一條件、 によりを表してあった。 においた。 においた。 においた。 においた。 においた。 においた。 においた。 においた。 にはではまて、 にはで、 においた。 にはないた。 になないた。 にないた。 になないた。 にないた。 にないた。 にないた。 にないた。 にないなないた。 になななななななななななななななななななななななな

濱口の事は醫者に任せてよ

編成

潘海線護路軍

仙石總裁船中で

三連の干速長を指揮さしてその部 ア人微紫鷺は中國部か、中國人は一路の干速長を指揮さしてその部 ア人微紫鷺は中國部か、中國人は一路の本月一日から護路軍を観心し の歌鏡約 利用するここである、既に一ケ年暖が車襲撃事候に鑑み鏡道警備の 利用するここである、既に一ケ年暖が車襲撃事候に鑑み鏡道警備の 利用するここである、既に一ケ年騰減鐵道では四海線や錦頸線の腫

六

発十七日オランダ公便は南京人りななも即日王正廷氏を訪ひ治外法権の放棄を発明したと傳へられる更にフランス公使も二十日北平た出發し南京に向ふこさに決定し該問題も愈々活氣づいて來たこの矢【上海特體十八月藝】 法補問題に黙し契、米、日の三國は協調を保ちつト交渉に懸ぜんさしてゐるが

南滿電信交涉內容 電東京十八日登 瀬口 間根は今朝 院本会議に臨み政友会館の質問に 院本会議に臨み政友会館の質問に 登院教諭

歌目にわたるものである。いち されてぬるが支那側で養表してぬ 五、長春、大連間の されてぬるが支那側で養表してぬ 五、長春、大連間の 一、 満銭附編地外の一 一、 満銭附編地外の一 大連門のである。いち 一、 英音、 本天間の 一、 満銭附編地外の一 大連門のである。いち 一、 延吉、 雄春地方 東北省外交機關 支那側發表の 、英民、李天間の電話線、新民、李天間の電話線、南滿における儋川電信、南瀬附脇地外の電信

登院は無理

主治醫の發表

八百十萬磅

英空軍豫算

十五、今朝少量の郷ル振りとも 食熱少なく昨日の疝痛のため相 食熱少なく昨日の疝痛のため相 含疲勞加はり登院は無理さ思ふ が首相はごうしても登院するさ が高れに従った、しかも登院し でしても長時間の答解には耐 でらてても長時間の答解には耐 でられまい、なほ本日は少し熱 が高いがこれは昨日の疲勞の結

て今朝十時学識識主石圏の登場京十八二巻」復口首相の庭販 船中では氣樂にしてゐたいからへ 来たまへ」で記者連を慰室によん | 門司特電十八日整|| ばいかる丸| | つ今朝門司:着いた他不總滅は「

首相の容體

滅稅案 と 貴院態

結局は通過すると期待

不信任安

東京十八十数3二十日の表議院 本會議に上継される政友官の内閣 が反訴総認に載し着に閣僚よりこれ が反訴総認に載し者に閣僚よりこれ 小泉遞相入院 松川拓相起つ

り集観が許さい模様であるから奥一本家の通過に努力してゐるが結局の機械窓は昵究會の態度如便によ一般すると共に政府を観控して極力の機械窓は昵究會の態度如便によ一般すると共に政府を観控して極力

だけに貴族院も最後に至り通は國民生活に即する海税案で

反對沿

乃資江取引關係

階級闘爭心

藤原氏勞働法案について質疑

具族院本會議(+人里)

腹痛を誤べたが膨脹を整め

に三ヶ所

幣原代理の答辯 總て責任を負し 1.

従家理由に説明すべく

一、 祐島人

人の顔が

登成意見か述べ総つて探決に入り かりの 大郎で、代つて東園基光子(研究)

藤原銀次郎氏(研究) 産業

節は得べして思惟してゐること と、無瞬國の議會における批准問題に と、米時國の議會における批准問題に と、米時國の議會における批准問題に と、北京の論等を避った。 と、北京の論等を認った。 と、北京の論等を認った。 と、北京の論等を認った。 と、北京の論等を認った。 と、北京の論等を認った。 と、北京の論等を認った。 と、北京の論等を認った。 と、北京の論等を認った。 と、北京の語を、また。 と、また。 と、北京の語を、また。 と、北京の語を、また。 と、北京の語を、また。 と、北京の語を、また。 と、北京の語を、また。 と、北京の語を、また。 と、北京の語を、また。 と、北京の語を、また。 と、北京の語を、また。 と、北京の語で、また。 と、北京の語を、また。 と、また。 と、

及波戦者の後低神充をなす響で内 における師範學堂、数点塗成部の 卒製者によつて奥級増加への神充。

れから出

はせるさ「凡そス 書館はスポーツマー 開東殿の室田秘

◆…でもその窓田氏が繋戯で一つためにまからかの窓田氏が繋戯で一つためであるららいであるの窓田氏が繋戯で一つためである。 きなのは戦闘とテニスです」だ ものなら何でも かいってあるが中にも好

濱口首相の答辯

方針

か此のやうである

内務次官の説明ありて入祭者の務次官の説明ありて入祭者

国東京十八日 数 3 福口首様は十八日の衆議に本倉職においては東京 する策建縣祭に離ること、なった する策建縣祭に離ること、なった では、1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年を1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1

教護法中改正法律案(同

0 順では米だ顧馴染もないので格 蘇のやうに滾すことがある

第1、世紀には「東社の基本は

門者連中で野校試合か約したも 野心し盛になつて來たので願内 るだけに面白味も出て来る、 (室田氏は特に某社の某君さい

中

将まで敷名に繊維にして丁ひ、 で蔵時の野校試合に敵の正副主 で成時の野校試合に敵の正副主

ダンやつて見るさ根が手心のあ

への総望を抛へたものだがダン

かなかった。

いに吹える。まだ職みつかない、 賞へなかつた。現ナマは持つて行るでは打って行る 通融代表狙戦事件でモ 漢 吉 語 印

五ヶ國海軍條約起草委員會の等備を成立に伴い十九日より開かれる 定成立に伴ひ十九日より開かれる 五ケ國條約に挿り 0 モロー氏は世界谷園の潜水艦順数。大問題とされてゐる 第一次 が記職の中心をなしたもの、如く フーヴァー大統領の海軍政策中最 まれてゐると、然に潜水艦削波は 第二線 原語を振張しその延続像 の削減に一大勢力をなてやう訓念 海軍協定を 英・米間の交渉開始

いのではない。 相は前後から腹が痛いる片腹が痛いの片腹が痛いの片腹が痛いる

三民主義 の原理で中華民 関東歐三龍四務局長は上島監管同門は当さして投稿が配の用語を機 長輪が配へ出張の管師は当さして投稿が配の用語を機 長輪が配へ出張の管師は当さして投稿が配の用語を機 長輪が配へ出張の管 商工學校墓生 大連市立 商工學校では四月入學の各科生徒 一次語、安都語、海記、珠第、 日迄、男子部蘭科一年四十名、專 日迄、男子部蘭科一年四十名、專 日次、男子部蘭科一年四十名、專 本イブライター、電氣、建築、土 本名料な合こ)約三百名 『門司特電十八日襲』二十日大連四片朝三、大村祐一郎、上村雄四片朝三、大村祐一郎、上村雄二、清水富士夫 うらる丸の船客 三浦內務局長視察

或る唯物史觀的

人は靴下の底に窓

ものに「

についても誠意をし

さうさいふこさになり四月から愈なくになり、ころできれる事情ができロシア雌かない。 こうになり四月から愈なく いかい こうになり四月からの さいかい こうになり四月からの さいかい こうになり四月からの さいかい こうになり四月からの さいかい こうになり四月からの こうになり 四月からの こうになり 四月からの こうになり 四月からの こうになり 四月からの こうになり 四月からの こうになり こうになり こうになり こうになり こうになり こうになり こうになり こうになり こうになり こうにない こうにな

ことなり世五日大連籔内地、立智なより歐洲谷地を観察に洋行することもの歐洲谷地を観察に洋行することをは、

関数家、左手こ1 P2

では、 かないないのは場所の三助では、 のるければ、 のるければ、 のるいで叱言が來な、難しいものさ」と選慢したこの純悩の更繁は、 中脈をしたこの純悩の更繁は、 中脈をしたこの純悩の更繁に、 中脈を

では、土工の努力で築いた、そ

野り、土工の努力で製 の地 作工の努力で

の平等原脈による低鏡板の所管等して多少脈がし東鰻理事質の

露支語の習得を獎勵

滿鐵代表

出後するこさゝなつた

草場囑託中佐外遊

後でこう 事務を 事を を を 事を を で ここく 事

に大理なの

後式した、張三李四のか 道路を、古跡を、名所を を発言し、その単世の事が

東支露支幹部の 親睦の度加はる

所版の弾車跳撃に備ふる総ばかり 車には十名が至五十名宛を配跡し役別。 車には十名が至五十名宛を配跡し役別。 車には十名が至五十名宛を配跡し役別。 防止でなく海龍地方のが目が

率天電話』 でも降へられてゐる

民政署管内の促進學級は松林小學 の保護學級問題により大連 が解分に止まらうさ、因に南山蔵 が開始の促進學級問題により大連 校さ二學校になった調である 中日連絡會議

こしてウストリヤローフ、エングリリ四月初め内地出資源選の選により、知られた著名の學者であり、工概と表現される管理を確認を表現を表現される管理を表現を表現される管理を表現される管理を表現される管理を表現される管理を表現される管理を表現される管理を表現される管理を表現される管理を表現される管理を表現される管理を表現される管理を表現される管理を表現される管理を表現される管理を表現される管理を表現される管理を表現される管理を表現される管理を表現される管理を表現される管理を表現される管理を表現される管理を表現される。 おいて、の後任さしては今回佐伯少佐が近ての後任さしては今回佐伯少佐が近 ・ 本紙の主張に共鳴し、家覧を一と歌十画ドげた家宝かある。心から と歌十画ドげた家宝かある。心から り四月初め内地出發巡遊の送によ 楽雨會にも値下げが出る。いや 衆議院に談領値下げが出る。 連中のさころ十八日出帆長春
 単見甫氏(滿臓南京特派員) 廿一日爾爾 行の女帯千 果島すみ子さんの 明から晩までの化粧法 美人になっ方法質演 水谷八重子さんの」 朝起きてから夜慢るま 東すさんが貫真で酸姿 したので大評判。 らな美人になります。非が出一切ない。 大き人になります。 悲のが悪難に見られ

はいふにあり、右分離が独は殿に の 業的にも研究を完成してゐるが、 その分離が独は殿神本質の分解作 てゐるが、

連地方法院民事部へ無出されるこ

冢賃値下げの

トツブを切る

大家主の井藤さん

民事事代が著るもく増加した、大田される家覧請求、家屋町渡しの

れら訴狀は「月以降本月十五日まい世根を嫌認つてゐる

赤峰を根據に

内蒙を開拓

拓大卒業生十名が

陽春五月雄々しくも出發

質社會へ

工專卒業式

後主

洲日報社

三月

Ŧi.

日

代の今日では全く空文に等しく

「何れ」規則遊成のスピー る然機である

車軸用油の

精製に成功

撫順炭礦研究所で

熟があがらず安く出來る 熱があがらず安く出來る 熱があがらず安く出來る

のでその經

されて、日本一の家覧高を従って かけて、日本一の家覧高を従って かけて、日本一の家覧高を従って は依然さして絶えず最近歴年との緊撃

岸

0

9

けさ常安寺にて

感よ交通機

更に

一名を留置

購買組合の不正事件

ます/

\ 擴大の模様

村松組工場全燒

空文に等しい規則改正に

童、交通事故は加速度的に増加する 変通事故は加速度的に増加する 無総はます / 突蛇化・監展の大性さなつて日々繰返される御頭の状態なきれる御頭の で大連署保存祭では助締修系を確し、主難と非難の轄を聞くに至つたのをが、主難の轄を聞くに至つたの 交通機関の秩序なきスピ

10 であるので変通頻繁な概見ごみまであるので変通頻繁なではこの脈に鑑したを変通機関のスピード引上げなか各変通機関のスピード引上げないであるので変通頻繁な概見ご表してあるので変通頻繁なで見しい。

御慰問 を御差遣

支那駐屯軍

結核に罹り難い動物は

喰菌作用が强

奉天の澁谷創榮氏が

器博に

一篇に参考論文四篇であるが主論主論文は「経校の発校に記て」の主論文は「経校の発校に記て」のの単位を接換するここに決定した がれた態大教授會に於て醫學博士

年金澤勝大卒業後

法廷に持出され

丁に家主の争ひ

一月から既に七十餘件に達した

物語る痛々しい世相

をなし、海中は喰南作用の減ず的に發病せしめてその喰南作用を置し、又これ等の動物を人工

てぬたこさも 於て難心壁山場 企事攻し、次い 昭和二年現住

運動場――春日州間のクロスカンリーレースは既報の処く二十一 日午後一時より撃行されるが、既 に八重戦、選出等一派選手二十名 前哨殿さもいふべき大連間フル、本社前祭大瀬間フル、 ク俱樂部主催、本社後援の大連 館間フル、マラソンの の魁たる本社主催の

南の風

全滿麻雀競技大會

11111 申込ける限り 三月二十 日正午開始

込 所

滿鐵丁 更に客車二臺と機關車一臺 N 一購1

五月中に全部揃ふ

される減は外國品或は日本石油の現在これ等のディセル動車に使用 ゼル助甲に である。而して

動車の貨地 ルオイルがあることがこのデイセーの映画を使用することになった一つの理由である」と言ってゐる、 て、 運輸隊にても「撫願のシエール」場よりの整治を使用の答っても「無願のシエーを明れているとが将来ディセン け現在の機関車

日報産南海峡において坐礁、霧組、四水の海町が三十六名紫組)は去る十四海県・艦長小澤田が三十六名紫組)は去る十四

1.800CC(- 4) \$5.00

海南で坐礁

ク供樂部宛甲込まれた

一般をアノ日迄株式の昭和六年四月一日接停止公告

究し全く民間脱究家さしては珍し十の指導な受け夜は診療の傷ら脱

合話實快全是

構監設建

适智計築

原

祭

大連市但馬町上二

電訪

六二八七番

興東處第一級主性技術者

梶原勇

雄

電園内に

大の模様である

大の様様である

大の表が、大の表様である

大の表様である

大の様様である

大の様様である

大の様様である

大の様様である

大の様様である

大の様様である

大の様様である

大の様様で

一関東長官、滿鐵總縣の設静(いろ 一関東長官、滿鐵總縣の設静(いろ 質既を控集に安全

賞紙を授與し、小山校長の式能・

御入學。お

番八八一五表代話電町速浪市連大

品

御座います。市内大商店共通の商品券網維各地書店に共通の大阪屋號圖書券は至極御便利で

自一圏六十五銭第四圏八東京 製ランドセル

合文房

五錢至四圓八十錢各種

題も鮮明するこさの機力に抵抗する なるや市内某中等學校の無限総督 を着した十七、八畿の少年態態性 勝者が現れ散歩中の婦女子を手古 勝者が現れ散歩中の婦女子を手古 勝者が現れ散歩中の婦女子を手古

局も 神經を実らすやうになった つれてこれ等態態性統者出郷に當 でなったが、ポッ/ と暖かくなるに

古田洋行

申込みけ

限り

學校の三部に分ちそれんと選手概能を対している。 を 奥校の 三部に分ちそれん

し廢回來時 まし合の下 **し高資御向** た級會愛暖 か車社顧の から倍舊の御引立の程御願申上車で老練な邦人連轉手のみを摘願に對し十二分の奉仕を完ふすの候各位益御隆祥の段大賀に存の候各位益御隆祥の段大賀に存

合資會社

田

正

申を事ふにおります。 中をするにおります。 は知りますはます。

命鮮內陳

に支容者

應人の弊

ず運充店

る轉實と

さ**数**期 しては年

御通な子では最かり 中上げます 尚左記は曩に解雇致し弊でありますが**全然事實無規** のシーに併合した等さ稱子 弊店ご何等間 人間得意様な 東車輛數臺を開 武 關す各買 係か位入がらにれ あ為御たり念迷の ま御惑を せ知ら掛け

大 量 會合 製 產 ٤



Œ より 正 分 引

鞄

エス、リンゲル 生のならで、 観音 上の如く盛にア 上の如く盛にア

でイセル機関車一変を購入することでは、大石橋間の 一では、大石橋間の 一では、大石橋間の 一では、大石橋間の 一では、大石橋間の 一では、大石橋間の 一では、大石橋間の 一では、大石橋間の 一で、大石橋間の 一で、大石橋間の 一で、大石橋間の 一でで、大石橋間の で、大石橋間の で、大石橋間の

さに決定、前者は本月末、後者は「る鎌定あり、貨車用機関車は獨選ケイセル機関車一整を購入するこ」 | 客車用 | さして使用され

今曉撫順の と物たものである【奉天電話】

い他に延慢なるの他の大 は機能での他の大 は機能での他の大 は機能をありず出 日髪鬼現はる 日野鬼田はる 日野鬼田は富士四 月號から登表された、エロミグロ 高端をく では いまれた。 エロミグロ は いっぱん は またれた は いっぱん いっぱん は いましん は いっぱん は いっぱん は いっぱん は いっぱん は いっぱん はん はいまん はいまん はいまん はいまん はいまん はん はん はん はん はん はん はん はん はん は

娘の家出

に友人が居るのでその方面に行っ を中ら願いである、簡東京、京都 を中ら願いである、簡東京、京都 を中ら解いである。 子さ手に手を取つて逃げたらしく 中でもてぬるものであるが、ごうも 或は十六日出帆したばいかる丸で 今に至るも贈らず家人一同大鵬ぎなしてもら 製高女卒業のフミエCooといって 方捜査願が出た、娘さんは大連

思ひ當る節がない。 七人制ラグビー戦 十人制ラグビー戦
では来る四月二十九日の天長節の住館を行し て満洲最初の試みたるセアン、ア 思ひ當る節がないさ

せ申て弊最て上居店近

天氣豫執

叫 **五** 本日(十九日)女給慰安の爲め 知 F

午後七時迄休ませて頂きます

和洋料理 大連市浪速町美濃町角

座

公次開週

十錢開放

٤

粉末、散劑アリン

七 三百 九 千八 一人の面白さい

聞いてあた家治公、

な會話をちつさ

「いづれ日を殴めて他の町で美し

十分の電信、既舎學者で見せかけ とうまいこさかいふので、下地は とうまいこさかいふので、下地は 「左僕、程雨に濡れて行きますか 思ひながらも矢も厳も堪らなく此奴なかなか油脈がならのわい

章信が平伏す 「それでは、私は今日はこれで選 るのか、家治は獣

加寧

切符赞蕾 ツーリストビェロ・

大連市伊勢町角 電5554+4713猫

ア央南己匠WAサンドベルグ氏 現ウファー社提供の無勢映画神 地・香も高きオレンギ色のデンマー 大日よりの新番組

汽船

愛の花

0

ンデの色ジ

てごで活快

ありりかれて一座の機能はるや蛇麒楽の殿に上 が後継者が現れ脚響機を除で、 は非常なものであるが無人会月 は非常なものであるが愈々今月 は非常なものであるが愈々今月 は非常なものであるが前見等前人無 が現れ脚響機見等前人無 が自入るが に行入る。

日 し七つきがりさいふ感が一さ降来、家治は極しさうに云つて庭のがにたっまい、「合にほころぶさいふものです。これからおでかけになって、中屋の二階から、ねくねくさ磨これがあるが、なったらいかがですか」 は、大人ので軽くさころが待つておいで 大所此所に英酸い紅色の臓を配してなったらいかがですか」 は、大人で軽くさころが待つておいで 大所此所に英酸い紅色の臓を配してなったらいかがですか」 で繋艦の小銭な鳴かせてゐる。 はにはまだ火し撃いし、独は つてはゐるが、紅色歌の形にた。 なにはまだ火し撃いし、独は なの奥ゆかしさは何さもいへねる ない こうまいここをいふので、下地は その奥ゆかしさは何さもいへねる ない こうまいここをいふので、下地は その奥ゆかしさは何さもいへねる ない こうまいここをいふので、下地は その奥ゆかしさは何さもいへねる ない

園の管師京山瀧女も共に來連すなか、大文震曲の日吉旭秋平、故京山小座には小園の原際澤吾洲、ナンセ座には小園の原際澤吾洲、ナンセ 大様は酸々疾る二十日より大連戦機に來連を噂されてゐた京川小園 田宮貞樂一 廿六日より開演

割

色々な噂が立つてるる 第二章 0番

人人

0

たもの▲「いよく」書々の時間 をした大日活に常盤座に落つ た風に稱してゐる▲假應行場問題十七日も何等進版を見ず、南帝國 るさか質館の總支配人になるさかる等金最近馬鹿に数量がられてる 田源速館主は大連署へお百 館主も常然出 堂々 ープラザース社作品・再びまみゆ此名画・ 三月十九日より 鼟 Ŕŝ

照る日曇る日大會

幸反

(日曜木)

日

沙州

滿

日新開連載時代劇大會

も大體に於て終まり近く京都撮影が で伸突にこの新人等田誠神の息子 で伸突にこの新人等田誠神の息子 で伸突にこので、阪東野大郎な入 子さなつてぬた、阪東野大郎な入 がではなって、大阪東京本五郎の部屋 ではなって、大阪東野大郎な入

所入りをするこだになった

京山小圓大椽

廿日より大劇で

D 活

强腦强精を標榜する

大

澄

巨彈はこれ!!

先づ…

古成製品

8 江庄場馬 ルトクド 八七五八話電·話播盤常連大

御の

へ地内 P 紫檀 回

なる事を確信するんであります……をはり……なる事を確信するんであります。必需品として……装飾品として……「常に吾等復命……支那土産品としては斷然……代表的名産紫檀細工を措て他に無き事 其他麻雀、支那みやげ品紫檀細工製造責任販賣 町(吉野町角) 話 六公

本可

細 スフス ණ وموموه Ne \mathfrak{S} け品

英國製バレー自動研安全剃刀 何んでもない 使へば髯剃りなんか 髯剃用クリ ホンの朝の五分間だ レー にバ 髯剃用 レー ムを 0 ク IJ Ħ. 十 五 4

ド理樂 ク學博 ル士士 類似品あり御購入の節は必ずエフ 藥効特息腨 長 上のの 井 長 氏發見 包装に御注意 エドリン「ナガ を乞 内服により注射以上の卓効あり。 政防薬さなり治疾薬さなる。 世界的喘息薬の名聲を博する

ご手選鬪拳缺貧い强も

ーシン!!

ーシン!!

心粧品專門 御來店を……

髙 新

三根 眼 和 醫院

電信は口の中でときりに嘘いて られる無様だ」 られる無様だ」

(可認物便郵種三第)

暗

流

14

(13)

具を製部就十餘名を引速れ來速して養布敷行で大小道具ごもらへにて養布敷行で大小道具ごもらへに 無中してゐる〈寫真は貞樂得意の 出し物質的扇に於ける貞樂布さ宮

家治描

その時

態度

創立總會を

浄 2 雅 栗下井井山上 川助 子子主 阿 桂 正路演 人の演 佐 双三正之 紋二之 編 子葉郎夫助綱郎助

株式會社

達介

りご集めて、お揺ざいたしませうの別をさりのぞいて、一つ幣ノ町で高低を催け、美しい同門をづらいたというのが、同門の好み、公私 そんなにしてくれなくさも行きた いからでございませうし 「てんなにして 御案内いたしまする」

登起人こして創立中であった。要 を記念、前田利定子等の能名士を を記念、前田利定子等の能名士を

四くやうないちらしい表情で眼をさ、家治は新左衛門に、傾かをさ、家治は新左衛門に、傾かを たかのやうに、童信の後数に見談案治は、何か浚つてでも行かれ つたのやう

七日間 遊三、五

カ女房

全焼す 出ると演藝

喜多會滿洲支部

大江 美智子 行友李風原作白井戰太郎監督

まる十六日夜翠天曜において運転 中の松竹吹謡フィルム二幅包の内 中の松竹吹謡フィルム二幅包の内 で引きかいつたが、暗夜の窓運転 でいた。同フィルム十巻は全部局有に でいた。同フィルム十巻は全部局有に でいた。同フィルムは光週帝國館 奉天驛に於て

+ 月

り先刻から盛つて來たや

つた。

「さうですな、あたい」

にいたしませう、是非その能は御 もその時までお待っなされませ」 もその時までお待っなされませ」

にいたしませう、是非その能は御「いづれ日をあらためて行くこと

Ξ

ご出てくるのも無理からねこさでであった。原の味の噛みしめるほであった。原の味の噛みしめるほ

年 六

のお職、和國太大、

の離婚といふのが再原は純前

和

そのくせ、彼は今年丁度四十歳

つてゐた。

を安座に於て上映された栗島澄子、高田 を全部さ明石郷主演の下加茂映画 で手造酒」の内二巻で、電天平 で手造酒」の内二巻で、電天平 で手造酒」の内二巻で、電天平 で手造酒」の内二巻で、電天平 である。 の送別謠曲會

(土脈) 芦刈、鉢木、輝丸 つたが常日の番組は左の如し 精製氏の無難に於て催すこと、な 十一日午後一時より播磨町の白井 城みゆき戦の送別議曲會を來え二喜多會滿洲支部に於ては城添一氏

受哀碌 は 女 女 性 現代制 輝く 女 性 現代制 輝く 女 性

々かモデルにもて「滿郷動物園」 てツレルへなるま、に前銀のお歴 中が標寄り根集まつ りよ日九十

大きな は 時代 は 時代 は 時代 は 時代 は 時代 は 日本 に ま 海 に ま 海 に ま か ら ま か ら う に か ら ら か ら う に か ら ら か ら う に か ら う に か ら う に か ら こ か ら こ か ら ら か ら こ か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に か ら に 大武羅夫監督阿部曹子子南部章三主演

計した。 事務はは急遽來連し、昨日帝國館 事務はは急遽來連し、昨日帝國館 事務はは急遽來連し、昨日帝國館

なるものかデッチ上げたが、対験りよく出来てゐたゝめ、が繰りよく出来てゐたゝめ、が続りよく出来てゐたゝめ、

んけってるたとめ、世然に

守田勘彌の息子

阪東好太郎さ名乗る

へ入社

☆山麻な史が主唱者こなり、大連水族館が践立し▲一味の数を歌った。

長明職で果、又は潜心類聚さ云った機能へ勝いる▲一味の老妓敷名を機るて附ら難もり、大連水族館を被しる一味の老妓敷名

大 入 滿員 に 付 十 九 日 一 日 日 延 延 金色

日活大文藝映畵·溝口健二監督 梅村蓉子一世一代の名演技 夏川静江・濱口富士子主演

頭痛ジ

開

公

問題

世界各國の水産高と

わが關東州との比較

關東州の

小產業

ものではない。日舎漁業を始め大 が上るのは知り切ったことでが、院舗要国心を登録さしてまでが、院舗要国心を登録すのお監督 おっさてこそ公正會選りのお監督 も側式も子萬である。 を立ち、所述を国心を登録さしてまた。 までが、院舗要国心を登録さしてまた。 までが、院舗要国心を登録されている。

0

6

る。融工にしる、農林にしる、 以外の砕圆に就ては球底障壁では、美米の七線が物識の種さなつて 分の一に過ぎない。若しそれ前記般つてゐる。それは大海軍圏だ であり、更に世界的漁場アラスカ酸の一に過ぎない。若しそれ前記をからだそうだ。さころがそれさへ か合むアメリカですらわが園の三倍や以上

新り得ない。 をはし、その核液の夢も何時まで がし、その核液の夢も何時まで が見い、発展ロシャの産業五 では、では、発展ロシャの産業五 では、では、一アル換算

ひが 職くとであらうが、施助心理 で漁業家は氣が領ではあるま、。 今こ、で世際で

特産、錢鈔兩市場の 舊正休み廢止說

我が関東州の水産素は敷死の展感だすること、なった皆の南京時電行あったが、之が繁現の時は第一 無常事者及同臘河相外事課長に禁 を外交々談に移った関東脈飛艇 然外交々談に移った関東脈飛艇 に置るべく又國際問題でも

以前にも問題が起った事がある **駒東廳側の意見** 會にお互び研究を重ねたいものにおいても多少の喰違があるの 豫め研究が

田村豆信事務談

く満洲位、懐道盛んなこころは 後数相場や禁止は 歩き、さもか

経動構造や禁止品等等、さもかいが、株、総糸、麻袋、特蔵、一棚にパクチばかりさはいへないが、株、総糸、麻袋、特蔵、

でしるだとい「儲かられるのは、 一千圓近くのテラ銭がころげこ んでくるのだから寒勢なものだ の留守な強る小瀑新之輔氏は如 の留守な強る小瀑新之輔氏は如

物はヒドイですなア」さ水を向物にもだらい「儲かられるのは

銉

鈔信

託

Syca

或る日の小澤囑託

吹箸は先づ姓物

て鍵鎖能能はいはず、その胴元とユラーなのは鰕根場だ、そん

養蠶評議員會

建第、四年度決算並に事業報告、

を命ぜられた。

票軟弱

◆ 東 物(乙部) ◆ 東 (南田) ◆ 東 (南田) ◆ 東 (南田) 本 東 新 (南田) 本 東 (南田) 本 東 (南田) 本 (南田) 和 (南田) 本 (西田) 本 (西田)

全くです。公職會に金で二百

夏浦 二七二五百桁 ——極 夏和 四二二○千枚 —四五千枚 夏和 四二二○千枚 —四五千枚 一四五千枚 —四五千枚

所 引東 新 信 新 鈔 引中 引寄 引寄

新春付高値安値大野 中部 一一一

一十十七五三現 二

一一一一一〇〇 他你你他他他 七七六四一八六 五一三三三七七

一二三七留比八分三 二八留比〇分〇 未 着

為替相場

蜜柑關稅引下げ

南京政府へ交涉 在上海の横竹商務官から 資料提供方を依賴

特産業者の課税

遞減方を陳情す

も、紀州霊術一縦一圓五、六 官の通牒により監帖関税引下げに大連際工会議所に於ても機管機務 も愈々交渉

木材は品騰氣配

昨年の失敗に懲り

當業者競爭を避く

食料品さして

が出するのが法を

綿糸軟弱

人されてゐるさ

20

此際廢止か

三井と三菱が

撫順炭販賣競爭

南支市場を中心に

絶好の機會

小澤錢信囑託談

再び有力に擡頭す

關係箇所でも研究

三にてその郷果我が鮮支輪出も響き、無税にて全く差別的、 鉄丸的高標の高層のものも飛き同観の

取 二分五厘見蓋のコムミツションを るる

取 二分五厘見蓋のコムミツションを るる

取 二分五厘見蓋のコムミツションを るる 三菱は三十萬噸賣れば成功

特越さ れてゐる、然るに 関民政府では今年度より新麗な探 「中くも略その實施な見大連海關では も今年度より策施か見たさいる所では 「は今後益々促進されるものさみられる。而してこの健康は は今後益々促進されるものさみられる。而してこの健康は は今後益々促進されるものさみられる。 は今後益々促進されるものさみられる。 は今後益々促進されるものさみられる。 は今後益々促進されるものさみられる。 は今後益々促進されるものさみられる。

り、全く探覧を度外融した概等を 大物に満たさる狀態で木材製者も で、大物に満たさる狀態で木材製者も で、大物に満たさる状態で木材製者も で、大物に満たさる状態で木材製者も で、大物に満たさる状態で木材製者も

南支筋の

買長で

內地株呆槍

産

上海為替情報

仁

米

糸

四平街

限限限

八萬の増し、繋道物百一萬國に比し百十漁獲高三百五十一萬國に比し百十 大きなでは和談と昨年度の最好値では、 一部大の場合は、 一部大の場合は、 一部大の場合は、 一部大の場合は、 一部大の場合は、 一部では、 一では、 一では 歌騰するものさ見られてゐる 正隆支店長

正確観行では十七川附左記の通り正確観行では十七川附左記の通り 東長に昂騰を辿り 又相伴れて聢りこ 又相伴れて聢りこ

書 島支店

代理 角田 柳義 久保田泰雄

宝、云共、公果園

は完全保護駅になってゐないにせま、この極の損失は、が思っかなり、上部における標金の保存量は、一世この位あるのか、六萬本説、との重本説などあるが測潔正金支底、特量は二萬本位だらうさいつてゐた。

本國には二萬本位だらうさいつてゐた。
「本國には二萬本位だらうさいつてゐた。」
「本國には二萬本位だらうさいつてゐた。」
「本國には二萬本位だらうさいってゐた。」
「本國には二萬本位だらうさいってゐた。」
「本國には二萬本位だらうさいってゐた。」
「本國には二萬本位だらうさいってゐた。」
「本國には二萬本位だらうさいってゐた。」
「本國には二萬本し送った」とてみ

盛り返し人類が自然にした後から をはれない本来だ取りで上げて 本にだけに絵理郷な足取りで上げて 本にだけに絵理郷な足取りで上げて 本にだけに絵理郷など取りで上げて 本にだけに絵理郷など取りで上げて をしまんさの反動対は今一座監察な しまんさの反動対は今一座監察な

池田小兒科

醫院

洲學鄉申

込

洋洋行

中 引は四十九回世五銭さ廃かりである。 でつれへ変東市場販売中止の際神はでつれへ変東市場販売中止のである。 でつれへ変東市場販売中止の際神はでつれへ変東市場販売中止の際神はである。 本 今後同市場さの間に駆けないさい。 本 今後同市場さの間に駆けないさい。 本 1 に総多人で、着し繋ぎも でった金保護際になってるない。 は完全保護際になってるないにせば、 では完全保護際になってるないにせば、 では完全保護際になってるないにせば、 では完全保護際になってるないにせば、 では、 では、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 でですることにすれば、 は、 ででする。 でで繋続いめ解合 では、 ででする。 では、 ででする。 でででする。 ででする。 ででする。 ででする。 ででする。 でででする。 ででする。 ででです 『上海十八日後』和育銀は富地の 東部でうけよく下げらも、倫敦銀 東部でうけよく下げらも、倫敦銀 東部ので、アト孟賈より傍の憲注 変和あり、アト孟賈より傍の憲注 変和あり、アト孟賈より傍の憲注 変和のて銀強含みさなる、避豐輸 大振奮さして傍四片丁度、買ひし ほか、日外銀行買氣あり、金マバ みの頼れに伸びしも泰康潤、大徳 成、信享の喪りご大連が通り、金マバ ので出てらため、輸入一巡後、銀

れも一二十銭安ごダレた▲内地株 は新高値なみせてから三風州となった調であるがこれが果して目先 つた調であるがこれが果して目先 の押目をつくつたのであるか及は好価 に銀迷ひ濃厚なるものがある本郷 大株 昨後場反落をみせた内地 東京総動の東新に七十後安た元心 り北瀬竈株は七八十段安 明北瀬竈株は七八十段安

お

6.

ì

来穀商・土地の土地の

小殿100001000 月殿100010001000 月殿10001000 にも簡易安價に勉強致します 各館共御好次第御申付通如何様 汽車賃往復三割引 團體五割引 行樂の最好地滿洲第一の靈泉場

湯崗子溫泉

山登山に家族會に遠足に陽 頭痛 春

家につき全休す 特無市場では三十

滿鐵舊株 五十圓二十錢 滿鏡新株 二十五圓十錢

場(强保

所新株柄東

同十五山排質(同) 至0個00 同十五山排質(同) 至0個00 同子 宣(銀) 至 國六 日本向電信質(銀) 至 國六 日本向電信質(銀) 至 國六

奥地市況

式

滿鐵株(保合)

一八四個比

けふ關東廳を訪問

満洲重整物軽級合書記長照判長次さるべきよう陳懐する所があつた生度の特整物取引高は前年に此も 耶解氏は十八日底順に赴き關東歐年度の特整物取引高は前年に此も 耶解氏は十八日底順に赴き關東歐年度の特整物取引高は前年に此る 耶解氏は十八日底順に赴き關東歐年度の特整物取引高は前年に此る 耶解氏は十八日底順に赴き關東歐年度の特整物が開催さ 一般財界心況のため本 郎、大連油房職合會地事甲西龍三 其利益は多大 総関い出でな 大宗たら大豆 大宗たら大豆

のは基だ遺憾でのは基だ遺憾で

◆定期前場(單位錢)

臺期 黑花 照過 與天花 開盟 與悉 與對 金銀河 金銀河 金銀河 金銀河 金銀河 金野芹 金野芹 金野芹 金野芹 金野芹 金野芹 金野芹 金野芹 金野芹 医克尔 11,00 1100公 1100公

麻袋變らず 商

所引東新 新 鈔 豆 所稱 2. 後 引中引寄引寄引寄引寄引寄引寄引寄引寄

取新安住

118686818

1100000

限限限 * 定

元,00 元,00

米 原

京

長春 哈爾濱 公主資 第一元四月月月月日 | 第一元四月月月日日 | 第一元四月月月月月日 | 第一元五四月月月日日 | 第一元五四月月月日日 | 第一元五四月月月日日 | 第一元五四月月日日 | 第一元五四月月日日 | 第一元五四月月日日 | 第一元五四月月日日 | 第一元五四月月日日 | 第一元五四月月日日 | 第一元三四日 | 第一元三回日 | 第一元日 | 第一元三回日 | 第一元三回日 | 第一元日 | 第一元日

南鮮美二本(長成丸 三月十八日本海道 行手(群丸 四月八日本海道 行手(群水 四月八日本新海湾流行 明石丸、三月廿八日高谷汽船株式會武大連出級四大連市山縣近一五三大連市山縣近一五三十八日高谷汽船株式會武大連出級四大連市山縣近一五三十八日高谷汽船株式會武大連出級四大連市山縣近一五三十八日

の 大連汽船 出帆 大阪商船輸試大連支店

○ 大連安宗義
○ 安 東 行 連勝丸 三月九日
大連安宗義
○ 安 東 行 連勝丸 三月九日
次施縣總命令足期 大連瀬戸内線
愛護縣總命令足期 大連瀬戸内線
愛護縣總命令足期 大連瀬戸内線
「西 着 三月二十七日
道:今治着 三月二十七日
道:今治着 三月二十七日
道:今治着 三月二十七日
第一条一十四個四十錢
大連七川将(定期一邊一回)
「京、成海 利通版 三月三日
大連市加賀町三 ○
大連市加賀町三 ○
大連市加賀町三 ○
大連市加賀町三 ○ ●嘉城荷城所(大連市山場地)
●嘉城荷城所(大連市山場地)
電話四三三七番 ●上 海石(唐山丸 三川当山 年前九時出帆(華山丸 四月一日

大連市山縣通電話(七七八四六番大連市山縣通電話(七七八四六番大連市山縣通電話) 七八四六番 大連市監部通音要極 大連市監部通音要極 大連市監部通音要極 全球 大連市山縣通電話(七八四六番

前和

三月月月 集十八日 日 日 日 日 年 五八日

● 市島仁川行 會縣丸 三川廿五日 ● 佐川、長崎(羅南丸 四月 一日 朝鮮銀道各主要轉及本社各資徳地 間が受護資各主要轉及本社各資徳地 間が受護資各主要轉及本社各資徳地 中野 東三十十下高船會社 中野 東三十十下高船會社 中野 東三十十下高船會社 中野 東京船會社 大連市山縣通電話 大連代理店 日本 武會社大連代理店 日本 武會社 大連市山縣通電話 七八四六番 大連市場 北西 音表 表

E* 10日本郵船出帆

告 糸

阪 花

一海標金

充充名的 全部 基础 格

· 未送高雄行 岩 手 丸 三月二日 · 表送高雄行 岩 手 丸 三月二日 · 天 津 行(娄 路 丸 四月二日 · 天 津 行(娄 路 丸 四月二日 · 天 津 行(娄 路 九 四月二日 · 天 津 八 四月二日 · 天 津 八 四月二日 · 天 市 一日 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田 · 大 田

の大の大引

田錢東



東京・本

内 すべきか すべきか

◆ 本部の ・ 教のは ・ なの ・ のま ・ のま

主國の書店にありますー 大日本雄辯會講談社 (振替東京三九三〇番)

一本の表の表示の表示の表示の表示の表示を含めません。 本の表の表示の表示の表示の表示の表示の表示。 ▲質はるは前つなり

いても肥野

諸名家の過分なる御賞讃! 只々感謝-

望がありますので再び刊行致しましたは發行以來百萬餘部を賣盡し、今以て盛んな資行であります。第三著『出世の礎』には發行以來百萬餘部を賣盡し、今以て盛ん第一著『體驗を語る』及び第二著『處世の道』

影近者著 ▲身體全體を打込め ▲知道と沈活――○第に数するまで… ▲若き人々の首途を祝して を抑へる急所…〇捉は ○若さの光季…○波風が荒い…○世間學の を食ひ給ふな…○波見が売い…○世間學の

▲社員道·社長道

▲明るい日本を目指して一 続がにあるまいと信じます。 第に夕にゼヒー買づつでも御歌下さい。 恐らくこれほどスラー() 動めて、これはど日常生活に實際仮立つ修養者は に…〇考へ~~

軍なる理窟ではありません。生々しい體験苦の結晶であります。 電話の表現の事に、 ではありません。生々しい體験苦の結晶であります。 電話ではありません。生々しい體験苦の結晶であります。 変育見の下さる様、切にお願ひ申し上げます。 でもこれを御熟讀され、ば、世に處す でも変勢下さる様、切にお願ひ申し上げます。 でもこれを御熟讀され、ば、世に處す でも変勢できる様、切にお願ひ申し上げます。 でもこれを御熟讀され、ば、世に處す ではありません。生々しい體験苦の結晶であります。

在・〇口よりも腹・〇人格と技術 ▲順序本末―─○風呂の流しから…○学 ▲親子兄弟──○日に對して⋯○神に對 李頭一歩を進む…○行為の三階段… ○叱るといふこと・・○愛めるといふこ 不幸に泣く…○旺盛なる自覺・○一心足ら

たも一時も早く是非御覽を願ひたい。これこそ、就職の爲にも、一身の出 處世 繁榮の活指針 眞諦ー 一身の出世の爲にも、 一家の繁榮の爲にも、

下各位の御熱 より

(3)

監設督計

横井

山崎建之輔氏へ

勞働組合法案の

質疑終らず散會

貴族院本會議(十八日)

政府提出追加職算家に 大本年度に於て早くも要 でなる、私ごもの意を表明する を一般に整ちを更に追加強算に を一般に整ちを更に追加強算に を一般に整ちを更に追加強算に を一般に整ちを更へるだけ な所に磐ちを更へるだけ な所に磐ちを更へるだけ な所に磐ちを更へるだけ な所に軽いて早くも要 で変で、失業のであるだけ ながまるが、ないで早くも要

東郷の勢力下にあり、漸く五縣 ででは八十一縣の内七十六縣は ででは八十一縣の内七十六縣は ででは八十一縣の内七十六縣は

如斯狀態に於ては、特種の優越者が不必要を設し者さは和界の必要 越者と被懸迫者さは和界の必要

後口内閣に變りなし

第一矢を放つた鳩山氏に對して

追

1

難前も後も

首相の明晰な答辯

を立った。 を主はいてある、未だ腸の両復は 完全さはいてない、明日の登院 は開朝でなければ判ちか、質相 は風氣味であるがこれは手當の 要もない位で心配するここはな いこ思ふ

政友側騒ぎ立て散會

に持越す

政友の

も渡壁を

政友順數十名經

ける登院は

ので電市も小反撥を呈した 投動後場は上海標金が教制だった

وووووووووووووو

料

閣

0

異意如何 対によって突 対策を支持し 動組合法
た る造の網路

銀に死力を敷して励る、政友側で と徹底です政友會は職長の監部封 を変える時候やら登記する

けふの貴族院

神市

特

本會議を開く

民政は全部養職して納

北

電話パセ

された (長政) といれた (長政) といれた

休憩二十分の後午後十時

の歌歌となて響である の歌歌をなて響である の歌歌をなて響である

本日

廳報を

派ふ

銘

定

一六五〇

奥

豆满先豆先大豆現物物物物物物物

小景氣問題で 首相 大口喜六氏三度

E

る幾多の質例を持つて居る。文那は同情で尊重さに相反す

『東京十八日餐》十八日の寒暖院本倉職は追加聚築を上程し海口首相も登院し際繁煌。 ・代職士會を贈き戦倫を整へ、疾に野藍は曜田一郎、大日夢六、内田信他氏以下中堅 ・の疾然を一種に集中せんさしてゐる、然るに獨日強権は突陸遜度りのかめ他々登院せ ・で減を選る・一時間等、なほ首根不登院の優勝會さなり、午後二時安藤灣静長人場 すれば霧線立てる野麓の質問に答案する一般平間を事蛇上に得はんさするの策に出て野藍 の疾然を一種に集中せんさしてゐる、然るに獨日強権は突陸遜度りのかめ他々登院せ すれば霧線立てる野麓の質問に答案する一般平間を事蛇上に得はんさするの策に出て野藍 を置て

此の意味に於て吾人は近い邁 生に明治維新を指す、條約改訂 会に明治維新を指す、條約改訂 大の間情を有して居るものであ す、又支那を尊称て居るものであ り、又支那を尊称することに多 大の同情を有して居るものであ

技け、彼等の権利な尊重し得る ものとみ、如何にすれば彼等を ものとない。

同

社

說

情ご譲歩ご

共匪·法權·外債

で、同情の強要乃至は債権の踏 を倒しに頼らた、市井の無精派 にも似た行為は許されない。 若し卑劣なる、不断回目なる行 為で、孔孟の道徳な基礎さらた、それ は支那及支那人全體の資源であ つて、孔孟の道徳な基礎さらた。 数千年の立機的文化の國たる支

局者に支那を侮辱せざる範圍の 等は支那を奪重するが故に我當 に支那を奪重するが故に我當

の儘

開會

その気めに動しむで同時に、も はや之れ以上支那か論じ、相手 を以てす」の原理に還らなけれ ばならね。

かね知つて居る。

を さ に と に と と に と と に と と に と と に と か か か い て い ま か か で な く 立 つ た り し に な が か で な く 立 つ た り と で る こ 中 島 砂 書 に せ き 都 日 音 根 に と と で る こ 中 島 砂 書 官 場 ま で と く く こ 話 し 掛 け る や 山 崎 技 最 に 大口喜六氏(政友) 濱口首相の
を我財界を如何にとて執済せん
を我財界を如何にとて執済せん
を我財界を如何にとて執済せん 氏六喜口大

首相漸やく着席す

程と共に

緊張

衆院

蓮

なほこれに関して満洲の玉蜀黍。 に高繋の郷鮮輸入に多大の関心なも のて投務監視の語を降くに 明能に朝鮮人をれる玉甸黍は栗と 東に朝鮮人の主要食糧であるか ち、若し引上げる空にひゆいれが ない、若し引上げるごして漁粉ない。 ない、若し引上げるごして漁粉ない。

5単に微粉の點からのみこれが 関税を引き上げることで澱粉原料で食料の風別をごうするから 料ご食料の風別をごうするから 料ご食料の風別をごうするから 料ご食料の風別をごうするから であるから製産の増加を闘るに であるから製産の増加を闘るに

打通線の復舊 去る十日山城打通線飛線店は出水のたる記譜銀々道部に入電めつた

には一週間が要する場合には一週間が要す

去る十

◇定期後場〈銀組〉

の下に震災着後公債を守止しつの下に震災着後公債を守止しつ

東記の修造だ」「濱口を出せ」「 ・ かくて追加像質素の探決は十 ・ かくて追加像質素の探決は十 ・ かくて追加像質素の探決は十 ・ かくて追加像質素の探決は十

は 地男 近く 【大阪十八日 世後】 策て宿痾の胃腸加答兒加療中の男醫鴻池善右衛門氏は十八日 中の男醫鴻池善右衛門氏は十八日 大前一時途に逝去らた、享年六十

休憩中に

山崎達之輔氏、修正意見に熱辯

さんこする紙片を退けて自ら認め 立の掛野政策の誤るのなからり最後 不景氣のためであつてこの不景 気が斯く深刻にならうさは當時 気が斯く深刻にならうさは當時 ないが大変行しないさ云ふ のは財政の常道である、一時的 大樂公園の如き急に施するため たは臨時の手段を取るも已むな には臨時の手段を取るも已むな

職等立て全く聞き取る能はず、喧 大口氏(三度登壇)金解禁も不況 の一原因たるを認められたこさ は多さするも今後この不況を如 何に打開するかにつき答辯なき は遺憾である、非寡儀主義の名 野然「鄙級だ」「誤撃化すな」さな手を上げつと答案を逃むれば

議院が出て官職に魅った 語は鷲中は鄭至にて保養に努めつ

首相の容體 東京十八日 五、呼吸十五で点滅心配した程の こさはなかつたが極楽三十六度六分、膜八十 受たが騰減三十六度六分、膜八十 受たが騰減三十六度六分、膜八十 受たが騰減三十六度六分、膜八十 でしかつたが緩がしているる、影響も治療の診察を 首相歸邸 ▲石本憲治氏 <a>人工本憲治氏 <a>人工本憲治氏 <a>人工本憲治氏 <a>人工工具
◆櫻井遞信局長 十七日朝長春へ
◆櫻井遞信局長 十七日朝長春へ ▲村上滿興理 爭 風邪の爲め引籠

日支職の突潑にからんで電信突潑にからんで電信突潑にからんで 未解決の三百個十代 さからんで出るがい

は響方神線外交、からみ外交 ▲ 歴書を表がらむここが王正廷氏のいふ れない。いやそれ

電話六四六 院醫男 岩





一一人 八八八二 大八八二 七三八 七三八 米 一一一後 八八八三十 八八二七

五四三限

六六六六六後 九九七七六六 四七八四三八〇〇〇〇

生

式(短期) 不不不不不無無正五九四新 申申申申

安高引寄

東東株

六八日

不不不二三後 七六 七六 一九 市中中中〇〇 式(長期) トーニ三後 六七十七〇 六七十七〇

沈年八日

市

開税改正 を主張 洲 蜀黍

高粱

0

平壤米國資本事業の影響を懸念 **萩院關税委員會で**

公正會總會

新 (中部) (中部) (中部) (中部) (中部) (中部) (中部)

同情と継歩とは決して同一種 のものではない。 支那もが國こしての自からの 支那もが國こしての自からの 支那もが國こして、順序な以 て堂々こ建國の基礎に一歩一歩 を進むべきであらう。

あであらうのであらう

陰思代

原料と食料との

拓務省當局の意見 は関税引上げは好都合であらう は関税引上げは好都合であらう が、問題は何れにしても簡単に は片づくまい、また高粱は主に の前の関税吹正で無税さなつた ものだし、またこれを護粉原料 こして使用するかごうかは平壤 の工場でも未定らしいから急に 引上げる必要はなからう、後に 事實ごして現ばれた際改めて考 感するさいふ既相の答辞は妥告 だこ思ふ 厄介

別が

原子職業保障法案委員會に下後一部 一門決した 委員會で可決 入營者職業法案 た 大阪三品大引は前場寄に此ら期近 引 五十銭高中先一圓六七十銭乃至二 京 迷ひ見送る 選びり返る 出來不申

各品大保合

物(乙部)

家特別委員會の經過を報告

四新一園高に引けた 電地主力株の大引碇りを入 電地主力株の大引碇りを入 では、一下・も、近り では、一下・も、近り

正は豫想の下に行ふ譯にゆかなしてはその製品の現はれる本年してはその製品の現はれる本年 三十銭か一園五十銭に、高梁は無いないとなって、一覧家は百斤億か十三銭、高梁は無いの移入は無視であるから打ちに基だしい、彼に玉蜀黍は百斤 三十銭を一圓五十銭に關税を改正すべ 起を百成五十銭に關税を改正すべ

窓時代より政務調査會を開いて内 窓時代より政務調査會を開いて内 で地理投稿に就き質す事さなつた で地理投稿に就き質す事さなつた大 で地理投稿に就き質す事さなつた大 の二項を決定し、更に十九日午後 を記言と続ても十八日正午より 五大 を記言と問いて内 の二項を決定し、更に十九日午後 相法なの審議は僅かに概論的地租法なの審議は僅かに反對し更に をいてゐるが本案の重大性に 能分質疑打切め職議に反對し更に 能分質疑打切め職議と出の意策が傳 であれてゐるが本案の重大性に に対し、 に反對し更に を表すること ある答解を求むること

續新(高 東新(高)量·0 大新(高 東新(高)量·0 大阪三品反騰

漁港を繞りて

さればなりません。

(共同仕入機關)

わが軍光代理公使に對して昨年

です。勉強をです。随つて職會です。勉強をです。動強をです。随つて職會でも常に緊張して些の油賦となる熱心に知過されて居る機が顕はれます。

など、政府委託室一郎下路など 一部で見掛ける長官の

雅はれたのを聞いたが、他々何と を単成賞家で登園し、大に警線を を単してかける説はありも を手出中内閣の時、他の優談問 が、他々何と

部られました。 でいと結果を探索するから知れ にいと結果を探索するから知れ にいと結果を探索するから知れ にいと結果を探索するから知れ

「きア酒に酔ってゐるや

よく知りませんが、それでも

詳らい

が什麼

な治家でしてのコット充分心得ない、云を批評ではありません。 ではかりません ではありません ではありません

田畔が氣合ひをかけるやうな壁

乗配が消えた。 その代り、静か

前からは彼等の

貸家 南山麓鏡ケ池中央

婦人 病ハリ、キュウ 電話四六九二番

はせて、口能がった。そしてそこ

れが次第に強さかいなをの空気を観され

一月廿

關東長官

ツ鵬ける

神かして

盛りません。

それだけに長官の院内におけ

鬼型」と稱はれた方です。然も

うして離りしたものです。 ・ さないが、論言が通って居るだけによく降かせるさ云ふ風な窓 力だつたさ思ひます。 カだつたさ思ひます。

一瞬ぐなんて。

んて。失--」

「關はれえ、停留所添濡れて行か

「他人の家で」

ですないない。

てゐるのが聞こえ

北部老

塚本清治さん

東京にて鎮馬・生

議院人物點景

の限り、記者は自由に其後を追 だから長官の姿が衆議院に見え

りだけは充分無機するここが出族院議員ことての長官の熱心振

お要属との間におけ

明かである、支那さしては主権が上期せらるべきものでないことが

第一には滿磯における固有なる。 で、たった原因を申上げますれば で、たった原因を申上げますれば で、こで滿磯が斯の如く昭和五年

が出なさらうさするのか、今の都響さの職にあつて、如何かか、それでは支那はこの實験

た近き教本にあっても、とて、戦時膨慢などは今日にあって、無くの庭く観察して來るさ、無 即時散験などは今日にあつくの如く観察して來るさ、

幸较

さいふこさになつてあるさいふの

中でございますが、それによるさ 神経金が二千百十萬間であつて更 に一層減するやうな狀態でありま

第によつて政府に提出し目下総職 建築は大艦に於て昭和五年度の 建立なす、それから昭和六年度の

百萬國以下に下るやうな傾向でご

(日曜木)

前段でも述べたやうに、支那の

は商一層窓くなりまして、二千七は商一層窓くなりますが、最近の販源に比

ます、是は四和四年度の決策に比が一一萬八千二百八十五圓でござい中一萬八千二百八十五圓でござい四十五百三

事態的権が認めればの、いよく、支那は一月一

歌明し、更に十九年の一月 支那は一片崎に徹殿を實現 との月には、十九年の一月一

東にして解へられるさころに 別時には皮針してゐる、明ち 別時には皮針してゐる、明ち

在支邦人の管轄輸出なる

易に態度せず、古那はわが園

保してゐるものも少くな

撤

廢

外交々 日支双方主張の懸隔 沙の 些かも相違あるを得ざるものと 第三國人民の受くる待遇よりも 方の締約國人民の受くる待遇は す、但しこれ等の事情に関し一 經過

●最近響祭の立給取締について歴

ろやこの彼好等に同様すべきで 女等女性に負はすべきでなく響い ものであって、この罪決して彼

の意向であるさい

の金を貸すこさのの金を貸すこさの

海濱の家の出來事

相様の酸はウ

してゐた。

朗

藝娼妓にも理解

投書歡迎

ちょうない。 大のは便越であるか、彼女等に なって欲しい、殊に慰避故をいるか、彼女等に でやる心操を先づ陰局者から持ってからか、殊に慰避故を置る。 ながら持ちない。 ながらはできました。 ながらはできました。 ながらはできました。 ながられてきました。 ながられてきました。 ながられてきました。 ながられてきました。 ながられてきました。 ながられてきました。 ながられてきました。 ながらない。 ながらない。 ながられてきました。 ながらない。 ながらながらない。 ながらない。 ながらない

これな撤還し、次いでに達してぬたが、殲壊

シャもまたこれな故葉し民國 て、 勿論かくの如

してるる、支那はその後名園こも いのをみて、特別決重を設けることには同意を表したやうだが、外 とには同意を表したやうだが、外 関人の繋焼電を入れるが好きこと は、依然として支那の主観を修す た終くものこ思ばれる群りでな されば常居の歌感妙に繋する無 をれば常居の歌感妙に繋する無 が現したもので甚だしく温情

は、支那の司法制度が完備での過ぎ時が、支那の司法制度が完全な情報を持ち、それだけの軟後のである。ここが出来にち、それだけの軟後でする。 は窓びないであらう まれる、日本さへもこの問題のたまれる、日本さへもこの問題のたまでした。の問題のたまない。 である。 絶つ方法や憲策するに如かすでるよりも戦る其の犯罪の源泉を

して大豆其他の特産物が

のた。つかコンニイ

層の描すぶつて言

満鐵の收支事情 銀下落、不況ご收入減

野赤掖へて政府に認可申離中でこれはまだ本定ですが、只今迄の滿 地上げまするさ滿鏡が只今更正像 ではまだ本定ですが、只今迄の滿 貴院に於ける政府委員の答辯

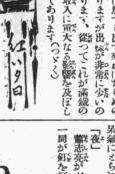
東二には世界の不景氣、又我國の 第二には世界の不景氣、又我國の 東京によることが収入の減少を

建設收入に重大なる影響を及ぼし 江い夕日

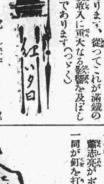
日標き要に関するに は、一般を要なで、 は、一般を要なで、 は、一般を要なで、 は、一般を要なで、 は、 をでは、 をでいる。 をでは、 をでする、 をでは、 をでする、 をでする、 をでする、 をでする。 をです。 をでする。 をです。 をです。 をでする。 をでする。 をでする。 をでする。 をでする。 をでする。 をでする。 をです。 関係代表条列の上でいると盛大 日も単興亞司会職権、各機関、 特を取ることにしてあるが十六











を置ることか非常に質問かして居とながために慰民は非常に願い便格とながために慰民は非常に願い便格 五年に於てく出て來ればなられの れがため昭和 院者は一時間か合つた。 そのひっそりもた決談の中に帰るとなった。 一同が釘を打ち込まれたやうにたの離志亮がポッキリ一語言った。

三人に愛して、チョに驚いた。—— 三人に残して、ザコンニイの背後田畔が皮肉な一瞥な、後に残る は一足先に支閥の扉

「あゝ、あ

織色を何つた。

男女 外交員毛皮際国會會員事 大家 東に自信ある方入用 整後町八大連毛皮質場合名館 野城短期登成町半長傳数規 大家演送れた連載登町十八点鹽智町 大家演送 カフエーサクラ

家女 郷利家政婦所添婦育集及派遣迅速 ・大率天 カフエーサクラ 山縣通 日本タイプライタ會耐邦文(午前・午後・夜間)

西品 紫龍東道四階建 大連案內社

費其他家畜類診療 学ステムパー狂犬病

専門のヤナギヤへ蓄音器修繕は

栗 · 京

大連市西公園町一五三 東部西公園町一五三 東部西公園町一五三 ラチュム温灸治器

三河町 池内 電八六七五番三河町 池内 電八六七五番 **專賣特許、東京理學** 景品付賣出中 が 大連市美濃町二五曜六六八八 大連市美濃町二五曜六六八八 カージ、

頭痛・ノーシン んしんあんま か其他腱痛手足の痛む倒方程 かまれる

理科西蘭佛 2000年であり、フェー

横**園稚幼場廣西**番五二三四話電

おいといく 値下 からとなった 大手 ク電ニニの大大 をします カルとします 淡尿器科 事門 皮属梅毒 大連西通·常盤語·西廣場中以 뾉話七五二八番

| 大連市大山道 | 小林又七支店 | 大連大学 | 大連大連 | 大連大学 | 大連大連 | 大連大学 | 大連工学 | 大連大学 新金量低網相談に應す 料金量低網相談に應す 料金量低網相談に應す 皮 軟 梅 毒 茶 病 性病 院醫中野

貸家 加城町二スチーム水便五 **買四五園** 電六四七七 **賃四五園** 電六四七七 **1** 大、三、陰下應接八工 一、六、三、陰下應接八工

サチ・モミ 大連 市 ・ 大連 市

濟生醫院

商錄登

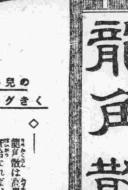
石井家畜病院 石井家畜病院

病

電話ニー九の九番

薬

電話 セハ六七



百日禄にスグきく 地よき内に治療を が果著しく、香味と ・効果著しく、香味と ・効果者しく、香味と ・変やかで服みよければ 変やかで服みよければ でいるという。 ・変やかで服みよければ でいるという。 ・変やかで服みよければ でいるという。 ・変やかで服みよければ でいるという。 ・変やかでいる。 ・変をかなが、 ・変をが、 ・変をがをが、 ・変をが、 ・変を



収収権 血機症 たんにて常にゴホンく せき動りに出で夜オテく眠れぬ… 音能のかれ及は咽喉の痛む たん臭氣を帯び時々血の交る… 肺病にて常に力なきを予出る… ぜんそくにてゼイゼイと息切するこ 流行感胃より起るたんせきの… 悩む 施默 核 概等 病。 病。 狀。

六四十八四十十八日日定 小等兒吃 肺病咳 亦; 行。 曖。 分分分分分價 百 三二一五三十十 日春 节台 又是 は職者をき

投行が 大譲 ポインター譲る 大連接 ボインター譲る 大連 勝町 慈華病院前大連温法治療院 三瀬町本川道 三瀬町本川道 三瀬町本川道 三 大譲れたし度入用 金庫 開宮式手提金庫 明宮式手提金庫 算盤の御用命は 電話五四三九番 青野町 家傳 公灸

さした調子で口を

胃傷 病ハリ、キュウ ・ 病大速二葉町六○ **林梅** 性暴丸炎鍼灸

大連劇場隣接本難局電七八六二 茶精 朝鮮總督府官數 特田順天堂 電三二〇九番 | 張速町五丁目二〇一番地
| 電話六六八八番へ 薬は ヒシカワ薬局 電話七八九三番へ

製造元 片 岡 桃 店 製造主 大連市工業町一〇四

概念を表 機味が 症 ٠

病。病。

東京市神田區製品町本舗 要新師 東京市神田區製品町

あり

日は漁業祭の消滅的の打陸策

施製が配のみ取り変されてる智は が磨飾に進化して來てるのに虧り なのはいで、又大般 州二百里の港岸だけで漁師が駅の はが風か代へて機が施い北岸が東 を はが風か代へて機が施い北岸派を はが風かせる 関東

市 一般の黄花魚の季節は今日でも濾師 一界地の樹老、龍口地の郷、熊岳城

てます。ごうしても今一歩踏み出 か、六十馬力や八十脚力では遺 を計組織の下に大型連艦なされば のでは、新へます。それには疲勢 上海が、電影神、電影な話、上海が、電影神、電影神、電影神、電影神、電影神を動なる。 なる情報ですが、電影神、電影神を動なる はいます。

んだ。親爺を引つばり出して根壁の前に進み寄った。

つてみる。どうせい

おからした。 おなささをいれて、 おなこれて、 なさされて、 ないれて、 、 、 ないれて、 ないれて、 、 、 、 、 、 ないれて、 、 、 、 、 、 、 、

「館を言やがるんだ!」

子をハネのけて難志亮

「他人の家なぞを時間しない方が

竹篦返しに細ない

表欄で、

してある今の激素素の自力変化する



ゆく鍵脈の後姿を冷がいこと 立型間にノッカアの

り彼奴等の眼の前

電三〇四九、三三二四能量町 小山 ヨ ネ 電話八二〇四九、三三二四能量町 安那服の準備有日本橋際大連寫眞館審夜機影男女 電話八二〇三番







▽全國各藥店に

暖り 年 (6) 畵作

満日案内

天帆

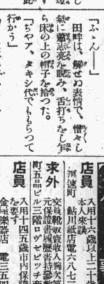
武印に限る

邦文

連市大山通 小林又七京

白帆

此印に限る紙は



田畔もデョンニイもギョつこして手か織めた。煌々で脈つた電燈であった機ら離の巨大変は、此でつた機ら離の巨大変は、此で

東外 交員靴収賣收入施次第身 市五品ビル三階ロヴセビッチ商會 市五品ビル三階ロヴセビッチ商會 市五品ビル三階ロヴセビッチ商會 大用十四五歳市内保證人 金屋樂器店 電三五四二 金屋樂器店 電三五四二 大用十七歳より二十六歳 市内保証人 市内大山通賓源電車 市会堂 電話八四七三番 中央食堂 電話八四七三番

恩給、水連龍工ビス町一九一番水連龍工ビス町一九一番 「本学、 本価料 食事で具まり ・ 食事で異大月十七組の割 ・ 会事で具まり ・ はの割 ・ では、 牛乳 ニチ ロベン **沃速町一丁目裏通 日臨洋大六八五**

パタークリ

「信機町市場前 電五二 電五二九三番

牛乳

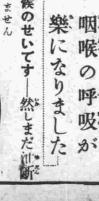
招聘 外勤



の使用で一 の使用で一 をない、からない。 ないば、少しでもたんせき、ぜんそ されば、少しでもたんせき、ぜんそ されば、少しでもたんせき、ぜんそ されば、少しでもたんせき、ぜんそ されば、少しでもたんせき、ぜんそ されば、少しでもたんせき、ぜんそ されば、少しでもたんせき、ぜんそ されば、少しでもたんせき、ぜんそ されば、少しでもたんせき、がんそ で気味を感じたり、すぐ龍角散 が出来を感じたり、すぐ龍角散 が出来ます。 をお執りなさい。 如をお執りなさい。 如







氣候のせいですー 咽喉の呼吸が 一の影響が受け、夏季に於て奥命を合は徹底階出し、配し下水の治

大孤山地蔵を遊れて、宝の浦に流

なものである。大孤山麓を流る

旅順民政署長

列車脫

線事件の

機關手に無罪

馬仲河驛事件に判決

室部作業科 を課す

ts

一、最近の麻酔問題(糖)

新制度實施の第一年を迎へ

金

料さして歌ゆる方針であるされる語學も英語の外に支那語 補習校を合併 外に支那語を正

線香代理髪料の作や鬱蜒の織管が

から微年あつち、こつちで引つ張 を変響生である、今年は日本人の共 のみ、電際満洲の農業に面に役に のみ、電際満洲の農業に直に役に のみ、電際満洲の農業に直に役に のみ、電際満洲の農業に直に役に のか、電際満洲の農業に直に役に のか、電際満洲の農業に直に役に のが、こつちで引つ張

山口堂長は野の修になって

珍器名實を陳

史生の旅順博物館

九月半ば迄には完成

り関係者一同喜びの響に選逐した 本来和水憩の後機解八ケ代司法領

独日十六日の成績は午前七時復た境費した金大間の滿電バ ス成績良好

不完全な自動車

發見次第嚴罰

動車事故發生防止

まだ宣牒の行き真らぬ關係もあら 大連数からは十一名た乗せて來た 大連数からは十一名た乗せて來た 壁の敷し着らとく野加せるため路 に然ても運輸手の技能及び車機の一般近自動車の増加に伴び運輸手車 つて事故養生し類養するので常局

でも一段の風数を添ゆること、な ても一段の風数を添ゆること、な でも一段の風数を添ゆること、な はあるまい。此の心は延長級一里 水がきれいだから 玉地の名も融く 歌し、玉の瀧に述ぐの機を現て、歌し、玉の瀧に述って随けておけて置く 問有名稱さしては適切でないばかいさいふのけ諸々方々にあるから 謂る稱さも思された。とた大孤されてる者もあるも、 川さいふても通ずまいし、又大 、他の心で遠ひ、年中水の海のまい。此の心は延長約一里

は、此の贈の水を高れることは出て、本の。更に此の贈の水を高れることは出ての難地として知られ、年々百數十の難地として知られ、年々百數十のが、必要とならで三百萬質でも五

通れる機

大価職務山麻道の深流されなべきか、脈 旅順が年順が、 別季此處にキャム

文を脚スケート場こした。然らば即ちに見る で、それには龍+焼かまで、それには龍+焼かまるを接頭に誘致する。

部行が安然であるさ叫ばれてゐる 総値下の四十錢その他巡索の値下 の四十錢その他巡索の値下 高いるの地離が高い、少くも普通緩であるが沿線さつて撫服は散然 ・ 名都合十五名を乗せて幸先は誠に 一 は新市街から十二名前門外から三 一 は新市街から十二名前門外から三

· (6- 在 数-

元 造 職

(四)

一人がて左記各氏の譫滅がある一十九日午後三時より撫順醫院論 撫順醫院論 事用の電域機能の原発機能を行って居たて新半度の四月から酸々本際に工事に主席の四月から酸々本際に工事に整手することになったので、工事の入札も近日中に関東殿ででは、

前は山元型深砂線同日十八時四十分が二十日午

伍堂理事は昨十八日二十三時麓列

伍堂理事來撫

平井 雅氏

かの間本欄で「日際戦争の思出」 してから大連や南陽鐵道(は際成 してから大連や南陽鐵道(は際成 してから大連や南陽鐵道(は際成 で居るから巻地在艦軍人分會でも を特別の不居ることであれば、かへ で居るから巻地の希照者に成めて で居るから巻地の希照者に成めて で居るから巻地の希照者に成めて で居るから巻地の希照者に成めて で居るから巻地の希照者に成めて であれば、かへ

5

一助さして金十個也を十七日醫察番町院部職吉翁は窮民救濟資金 市内東二

旅で地方委員會を開催した開會前 年後一時より地方事務所會議室に 中後一時より地方事務所會議室に 公費查定會議

農業學堂卒業生

就職率百

۱, ا

セント

を通じて寄贈する處あつた 一助さして金十圓也を十七日 一助さして金十圓也を十七日 大石

たべして建設する此でに関って驚地登電所はに関って驚地登電所は

長春か

實行機關さらて滿洲問題解決同盟 中後三時三十分であった、 暦に昭和六年度の公電監督員さして石庫 和六年度の公電監督員さして石庫 心に表古加藤斌助郷野光校の三氏を 原との指名に推蔵決定して練設し たのは午後四時頃であった、 郷に にのは年後四時頃であった、 郷に にのは年後四時頃であった。 郷に昭 をり午後六時より滝内所長より職 がたまり流内所長より職 職長の指名に

施師が終業にては十七日より関東 施師が終業にては十七日より関東

からでは、実践が機能であるまに確認が をのかよ子、近頭スッカリ整盤り をのかよ子、近頭スッカリ整盤り をのがおきまらりを表しか何にスッカリ整盤り をの背後には老繊山が揺べてゐる からで記さいたので、実際がおきまらりを表しか何にスッカリをといる。 がして来たので、実際の地種り連モ での背後には老繊山が揺べてゐる。

度量衡の檢查

同姓同名同級

珍らしい二人

来の総交を提出せる農廠々教機會 十六日通知に接近の稀號を得たる旨

開いた

家庭講演會

東部議治 懲して査定か終つたのは 局に至急申込まれたと 工 になりし置か報告し公吏査定に移 て管公吏在郷軍人新聞總 大石織管内に於ては滿日大 中職部年観線所遺等の有選 大石織管内に於ては滿日大石線を 大石線管内に於ては滿日大石線を 大石線管内に於ては滿日大石線管内に於ては滿日大石線管内に於ては滿日大石線管内に於ては滿日大石線管内に於ては滿日大石線管内に対して、

艦隊 報せる來る四月九日旅順よ での軍艦他来の希望者にも での軍艦他来の希望者にも での軍艦他来の希望者にも での軍艦他来の希望者にも 所庶務係より各機 本十九日(万木町、四崎、東洋橋) 本十八日(較島町、十年町、碧辺 寺町、土屋町) 寺町、土屋町) 寺町、土屋町) 寺町、土屋町) 楚豫引卸作業

表彰式に赴長

鮮支人の共匪

原

十七日から開始 の送電 はした中国軍艦「整御」は した中国軍艦「整御」は が東艦「鐵海」は作業消具構込の たが、途中が職の等め他の中國軍 たが、途中が職の等め他の中國軍 たが、途中が職の等め他の中國軍 たが、途中が職の等め他の中國軍 看護婦合格者 周東殿野

中 て長春養電所は優に千五百キロな エ(大分縣)浅田壽美惠(鳥取)淵 (学)の も赤敷年間は電力に不足を告ぐる 十名の處態夢者は二十名に塗したでが如きはなかるべしさ見られてぬ 野マサ子(層向)順川智惠子(愛) 常知となど、 (変) 第四・ツエ・熊本ン (変) 第一 (表) 第一 (たの九名が合格した 古賀シケノ(福岡)上妻ノブ(鹿 古賀シケノ(福岡)上妻ノブ(鹿 野マサ子(福岡)前川智惠子(豊取)淵 デマサ子(福岡)前川智惠子(豊取)淵 桜後) 沼田ミツエ(熊本) おめてた 校の卒業式は左の通り撃行する事際原地市事務所管内に於ける谷學

各學校卒業式

先づ電氣の心配無用

▲大津町四 書記今田敬登氏三男信幸君、六日出生 黄金臺 70日午前十時に撃行する事になっ 年

開原普通學校二十三日午前十時、開原小學校二十二日午前十時、開原小學校二十二日午前十時、開原公學堂二十二日午前十時

東京で目下審を配代そのごを続い を販船選工場にて昨年十月頃より を販船選工場にて昨年十月頃より を販船選工場にて昨年十月頃より 出級臨時檢查な行ふた当級臨時檢查な行ふた 小學校展覽會

た 機能展覧者を催す事となった 関、五の職目に買り全校児童の成 の成 守備隊將校團

断 △仙石線裁訪問顧末報告 関 臨時役員會を開き左記の事項を附 質 ない。

昨年十月驟順大學教機會に學節經濟外鐵高、接遍點の遊鄉鐵出に依疑さして六ケ年間破壞の勢を積み、報助市場の鐵種量と最近願三日來院を選き報天に在つて勢大に確然。ひと原三百元號ル梁越されてゐた縣地擊氏は大正十五年八月滿鐵醫 本取銀市場の鐵種と最近願三日來院地南本都原館の避谷艦三郎氏会った

は影響の如くなるが之に関し某有 本でも利権回收さかなんさか騒 市政警備處が廃止され幣地には窓 一個旅風が脱出され幣地には窓 一個旅風が廃止され幣地には窓 一個旅風が廃止され中国街に 一個 大政府の幹部會議に然て全國の 力者は左の短く諮つた

▲有質庫古氏へ遠陽地方事務所長) 十七日家族引連れ締速 山本第十六師側長 は徳久高級 副官を随へ北方出張中の處十八 日論速 十八日帰速 集の上六年度公野戸敷制の査定を 集の上六年度公野戸敷制の査定を なすさ が したが、此の頭全く安擦したので したが、此の頭全く安擦したので 十五日冬馴像者を召致して診察戒 を同日より経験したので

地方委員會 遼 陽

昭和製鋼所

満洲に置きたい

來鞍した伍堂理事談

日朝經率の答

◆中村静夫少佐(醫大教官) 今同

弘前歩兵第卅一聯隊に榮朝する

こさになり廿日十三時十六分發
急行にて継奉大連經由赴仕の答

創際長)十九日十三時着安泰線
急行にて着任の豫定

鳳凰城

出廻狀況視察

鐵路看護士 舌

であること、試験場所は東部間は

通りである、教見を寒中に活験器が出り、歌つて磨られるのは全くその.

他へけも自慢の毛彩の影響が楽山 を人工解に驚くして序るか加れり でしていますがざれだけ多くコドモ

ものである。其他家はせ過ぎによってもコドモを離くすることを知り、一般くすることを知らない世親は子でするには、その正しいが既を知り、なければならね。単兵法は大御我

7松の楽優な養郷させることがの木さして、ごうす

如何によって重くしなり軽くしな

で れる。病縁のコドモか人に説してれる。病縁のコドモか人に説して

野成田來ない。親学行をせよな

で母の真心をコドモに移すことはて、家を外にする母がある。これ

明日はゴルフちやさ云つ

世話するこさを避けて、今日は

なわざき難くする、小

コドモを弱

くさせる母

1

5

お母さん

悪いお母さん

(中) 腎臓性 二 田谷 啓(ぎ)

れた数ツる世がある。駅る母親はいた自分で宿はせる縣をコドモに附近のことを知られ母がある。高慢

る。螺が上達したさて質める母が おる。コドモのよい智順を置るこけて平気の母がある。自分のこさけて平気の母がある。自分のこさ

神殿で る

赤い夕陽の

千 暮 曲

葭

生

てるるが、その位のことが分らないのか、然じ、二年にもなるからい、短生の数がが悪いのであらうなんとかが新りない答けな

日

このセイロン島は、印度政府の このセイロン島は、印度政府の 観観を見地で、通貨は印度と同じ かんしょう でなくて 「セント」で

童

鳴いてます

父兄が公教の子既は

大部分は戦事節量及び其の家族です。日本人は現在五十六人、その

たつてます

既は中學の一年で宅の子供より一なことでは他茂かない、 降りの子なことでは他茂かない、 降りの子なことでは他茂かない、 降りの子

あるが、大連港を知る人には個

手繰り大策に何でもかんでも無税

ロナウンシエション(發音)さ

になるこなかくさう簡単ではな

ない、見重英語學院で英國の婦人のに英語な歌へてゐるが、種々様々

「楞迦島」さいひ「光輝ある島」

な戦金を要求しやうこと、戦金の一成象を越くする、人力車に乗れ

らない。

考へ放さ、程達の考へと題は、父兄の方々の英語

州より少しばかり大きい、 一帆より少しばかり大きい、

九

多くのA 日本人は、

ついて學ぶこさであるさ

極めて簡単

> 英國人又は米國人に

不愉快な

コロンボの

町

明つ張り込まうさする、確か彼等のの張り込まうさする、確か彼等になった。 居の中からすぐンドウを聴くさ、店の中からすぐ

西川不二雄

ら正確な養電さ、電の排繍さを學ることである、然らば、ごうした話を整の管の排揚の正確な

職罪な和文英語、英文和器位は出りーダーがは充分観めるさ同時に

一年も一ゃれば一の

英語

0)

學習

(E)

無視し「不正確な養貧と推議」と 地視し「不正確な養貧と推議」の正確を 地球「委員さ音の押場」の正確を

よ^ く^

眠る子

肥立ちが

8

日

丸 號

ュ

ク

(十四)

次

朗

アルコトニ

イワヤへ、ヒキカへシタ ニ イレ、フタタビ モト ノ ニ イレ、フタタビ モト ノ



選筆のペラゴニユーム) 館にも春の歌びが隅の方でこ カリミ関く、花見る花が夢のやうにボラ などの色とりんくの

い温室の中には、 和やかな陽を一ばいに受けた明る を含んた柔かい空氣がい空氣が でペコニヤ、セラニ でペコニヤ、セラニ にボーツさ凝んで ユーム、早炭鐵碗百 へした音楽の のびやかな

い要なここは微楽の英語教師中大き で、それは文字の数な楽山教へ で、それは文字の数な楽山教へ 要なことは微索の英語教師中尤 のであります。野うとた意味からのであります。野うとた意味から は一晝後飛ど眠つて暮ずやうなもとれて成長の早い子供時代はっま

千里の波を

越えて來る

麗か

ば瀬雷であるか、左にこれを売して海雷であるか、左にこれを売し、そして何時も同じ時間に変らば、然らば子供の賦賦を等時間はごの低めれば、然らば に注意し、そして何時も同じ時候前はなるべくはしやがないや もなるのです、何就

中風、ちらき

脳充血の危険症

それは真質の音楽であります。す 細胞を作る事を成長と云ひます。 言はれて居りますが する働きをなすものでその新しいないにない。 こよく なはち寒暖は疲れた緩慢を新たに

睡眠と發育との密接な關係

◇胆祗事相談 海草精劑 腦神經衰弱 惟つた人は治療に 神經痛、リカ 催らぬ人も豫防に

談相 トランプの稅金 ◆相談係宛

までも車夫の方に味方しやうさす野びが起つても土人の警官はどこ

上割の外に、カルタ税さして一組 ・ カルタ税さして一組 沙河口Y生 すが税金はごの位かいるでせう お土産と課税 服む人と 顔色までも違ふ! すぐ服め海貴本 服まぬ人では

へ一つ業権和工の発煙草入、盆、 の地へ勝省するのに下記の品を が開税がか、りませうか、数量 が開税がか、りませうか、数量 が開税がか、りませうか、数量 (四)緞子里(市內千代子)

老人も若い人 男も女も

お化粧には

ふやうな規定はありません 警察の統計を調べ

となり美粧効果百パロさが生地の美しさ

肌肌色色

セントであります

がいまで既にいる。

中ハ マツクラダ デ アル、デモ イ デ アル、デモ イ

中風、ちうきの老衰病 海貴來が第一等 老衰病によい薬 ウマチ! The speed grand of the last of なないは Source of Grand Street, Street W. AKADAMA"

る優に藥百杯一の夕朝

神仙松葉食(松の翠)神仙松葉食(松の翠)

発養の大

の

金線印

イーグル粉コーヒ

川辻

利

茶

特製玄米茶

ハブ草茶

辻利食料品

部

◎頭痛!

永井婦人醫院 電話三六六六番

梶田小兒科醫院 越後町若狹町角電六七五〇

産婦 婦人の病は婦人の手で

健康美を發揮する 粉白粉白粉白粉

二二二〇二番局

若く明るい顔になる

最新式濃化粧下

店商平費尾平

の諸相

べき

大抵慢性に移行す

全身に設勢 丸に酸熱な

が尿道の奥烈く進行し、粘膜下のが尿道の奥烈く進行し、粘膜下の

を使せば影響を受せば歌をしてより。 をできば影響を受けば歌歌をしてよりました。 一般性を帯びて来ます。 瀬薗は元来。

を据くこともあり、更に は自動する がすらあり、時として は自動するがすらあり、時として

女子に感染せしむ

問解會等は初顧支部及や地方取不住 本部判に願ひます

来を影響し意気情が、神経時間と

淋疾性婦人病其他 **志性林疾、慢性淋疾**

治淋熱療器」特許さる 丙を治力

弱動に重動を置いて、機を踏し射命を挽き戦年職級者際職して、遂に逃である。つまり無難は態に禁して非常に襲く、四十度前後の熱に逢電をしても根治するものでないと云ふのが、規管療法の忘録電をしても根治するものでないと云ふのが、規管療法の忘録が、機能に原職つたが影後、概念手索をしてもしなくとも必ず膨胀になる。近く、無薄は一度職つたが影後、概念手索をしてもしなくとも必ず膨胀になる。近く、無薄は一度職つたが影後、概念手索をしてもしなくとも必ず膨胀になる。近く、無薄は一度職つたが影後、概念手索をしてもしなくとも必ず膨胀になる。近く、無薄は一度職つたが影後、概念手索をしてもしなくとも必ず膨胀になる。 療器」を実

ん病不治論 行詰

栗物で全快せ ぬ型由

つて倉間作用を促し、治療學職を短極愛野られるため、白血球は急激には小量部に限られるため、白血球は急激に小量を受し然も腐然的全滅であるが、和器には小量を受し然も腐然的全滅であるが、和器には小量を受しない。

際に集中した。

『『『『歌神の目的を楽し得るといふ理想的効果を長い理趣的根據に立つて、「日ので地上く然も安全」との理想的根據に立つて、「日のでも地上く然も安全」とあります。

に使用して克く其目的を達し得

にして本案は是を最も簡易合理

熱により容易に死滅するものな 抑も淋菌は攝氏四十度內外の加



八に出來る熱療法

四開始したのであります。
四開始したのであります。
四開始したのであります。

金五圓

ガキ類駁封發送

類る愉快 いまし得

送料內地無料鏡機

一に記載

で に に に 記載

想度の調節は根数の生命で、取くも高く をは、直に出来る製造になって野ますから、 がいるの危敏はありません。 で、直に出来る製造になって野ますから、 をは、直に出来る製造になって野ますから、 をは、直に出来る製造になって野ますから、 で、直に出来る装置になって厚ますから の調節は状器の生命で、假くも高く の調節は状器の生命で、假くも高く

かるほ治で位日楚

付き物である。生活に順等支職な一千氏は三人の幼児を育人未踏の地を拓く者に觀線は、あつて直搬を以て開

石淋界の殊勳 **海老澤廣雄**

夫人内助の功



・ 特許原郷に登録せられ更に特許 のがく登美第一二三一〇六號を以 ・ 上段圏

と發表された熱療器

開し淋菌の

巣窟を焼く

薬がないからである。

化學藥の行き詰りを打

一般であります いて完全になってる れ、戦気、炭、ガソリン等を極々になった。では、大いできかについて研究を重いでは、かくて氏は第一點の配生を からないについて研究を重いるとなった。 驅淋方法熱療器 特許公報

東

(間)私は障礙の心得は対しもありませんが総縁器は実人でも使用。 なる)深人のだは勿ぶどんな不器用 っ人でも賦御に治療出来るのが 整臓器の一大特長です。

(後)結構をは野子恵用ですから女のだには度へません。 のだには度へません。 のだには度へません。 する鑑りは継続にありません。
する鑑りは継続にありません。
に発音しましたので不既になつ
ている数数は継続を現にこまつてる
るが人に使してやりたいのです く消除のじ食して上げて下さい は際ですが、然の間の影響をよ

自由に目的を達す

大に雷夷し来る事あれば、化農中政 に雷夷し来る事あれば、化農中政 に雷夷し来る事あれば、化農中政 に雷夷し来る事あれば、化農中政 では激素を建して常に耐人を苦 に存し、殊に他の療法と異り治療が頗る愉快で、少しの苦痛もなく、一度始めたら治る迄やめられないのである。然るに發明者海老澤やめられないのである。然るに發明者海老澤のため實費提供の壯擧を企てられた事は實に成謝に耐へ以次第である。 である。此事實を根底として完全に熱を局部教は薬がないからである。然るに此執拗な淋殺す薬がないからである。然るに此執拗な淋殺す薬がないからである。然るに此執拗な淋 **恒火を點じたものであります此熱療器の特色**る者は實に海老澤廣雄氏で、治淋上に尋考の る者は實に海老澤廣雄氏で、治淋上に革新のに送り淋菌を死滅せしむる新裝置を案出した る徹底的廉價提供 醫は仁術也療養は最 低を以て誇りこせよ

東京下谷區中根岸町交番橫

花柳病豫防協

振替東京七一七三八番電話下谷五三〇五番

住吉區橋本町七十番地 中區住吉町二ノ十八

一、本器は特許局下附の公報にもあ 等の危險無く安全に使用が出來ま 等の危險無く安全に使用が出來ま 等の危險無く安全に使用が出來ま 人往復文書等の秘密を絕對に嚴守 し往復文書等の秘密を絕對に嚴守 し往復文書等の秘密を絕對に嚴守

會々場決定

つてこの程鑑和會議が選定し清鑑で開催される全國料理等大會の事で開催される全國料理等大會の事情に就き大連三型組合では全國を持ち必要さあれば概然の會場が必要さあることであれば概然と、自然の事情が必要されば

あ

3

む

2

きのふ午後所見

で最も個用がありまた酸品を嵌へてゐる一識酸底を纏縮してゐるの附屬能處が眼寶會を儲すこと、なつたが、髪加陳朔傑度は市内の附屬能處が眼寶會を儲すこと、なつたが、髪加陳朔傑度は市内ため子供洋服及び降嚴品酸底主候、本社後機で來る二十七日よりため子供洋服及び降嚴品酸底主候、本社後機で來る二十七日より

松林校

<mark>博國</mark>見學團

宮島に入る

職して懸り地方派長は融る 最大響湾メイルに伴って州外居 最大響湾メイルに伴って州外居 最大響湾メイルに伴って州外居 大変の引下げは昭和六年度に限 ったもので臨時であるが富分こ れで暫く状況をみようさいふの れで暫く状況をみようさいふの れで暫く状況をみようさいふの れで暫く状況をみようさいふの れで暫く状況をみようさいふの

窮狀緩和

もつて関東州職員際成法により発 とた輸佐人吉田確太郎氏の法さ人 とた輸佐人吉田確太郎氏の法さ人 とた輸佐人吉田確太郎氏の法さ人 を持ち変ぜた無罪職あり結局午 後七時別歌、表決は三月三十一日

秋月氏來連 虎を専門

0

の酷めに腹する外追つの ためせる 成り

違反の理由

增加間島鮮支農民

局局 野に刺戟さ 地頭ビル四階電視室において開か ・ 先づ終の如く闘本委員長 ・ 大連解紅でも午前十時かれたが、先づ終の如く闘本委員長 ・ 大連解紅でも午前十時かれたが、先づ終の如く闘本委員長 ・ はあり、大連解紅でも午前十時かれたが、先づ終の如く闘本委員長 ・ はあり、大連解紅でも午前十時かれたが、先づ終の如く闘本委員長

連中央公園内忠憲塔では同日午前来る廿一日の春季皇郷祭に贈り大

春季皇靈祭

月氏(京都)は殿三日前大森清銀 月氏(京都)は殿三日前大森清銀 門下大連窓東ホテルに漂在中であ るが、氏は城時から虎畵に墓念し が、氏は城時から虎畵に墓念し

を設分な りご緩和するごとなり、を設分な りご緩和するごとなり、それで、事態の許す範圍で四月一日から たの通り一齊に引下げを行ふこと >なつた 一、宅地貸付料は現在料金の一割 二、耕地貸付料は現在料金の一割 二、耕地貸付料は現在料金の一割 四、建物貸付料は現在料金の一割 四、建物貸付料は現在料金の一割

甌法律家會議に

日本一参加

の目標がついたので創 なり近日中に技師一名ことに は明確に技師一名ことに は明確に技師一名

大使館の栗山参事官が

めに過程的ら印度南洋地方に旅行でない嵐の野性の虎を確発するた

得る機になる時は

なつてゐるが酸々

さ同時に火運業は自然

「動物學者さして重きななしてゐる」な物職することになる物で地方に起いて實際を研究した」することになるので一なながりにも從事したことあり、「古間は外遺離自身を

一十本へ

窮狀打開 に貢献す

する海事審判

後一時より職本委員長、落城、江 ・ 本郷光選に観せる無味丸を目続し 本 光夫氏に関する歌明は十八日午 本 光夫氏に関する歌明は十八日午 でした沙河や駿町春沙河地駿長熟 ま

式に右法律會議は十九日午前十一 正式代表ごして出席

粟野地方課長談

訪日佛機

上海に着く

こまである。これである。これである。これである。これである。これである。

スターの最も優良な縞織物を我マン

出である、日本の貿易業者は、エギブト貿易につき最も注目

棍棒を突出し

へ割八時間側で数と快晴に基ま へ割八時間側で数と快晴に基ま 上海鉄京城に向け飛ぶ積りだ、東京 滞在は三目間の豫定でその後ま た京城、奉天、北平を輕で上海 に來る等である 大連刀劍同好會

日本一氏は験智農大出の理學 ル にも養々主勢る態線の芝生は日本 るさころから右の観察をから では見るこさが出來ないので日本 つたもので、その動機には見るこさが出來ないので日本 つたもので、その動機には見るこさが出來ないので日本 つたもので、その動機になった。 一般には見るこさが出來ないので出本 つたもので、その動機になった。 一般になった。 一般になった 常線の芝生 研究を完成 宮内省の相馬式部官 ゴルファーに福

賣所設立

一八三列車(貨車)が世代子――間 水子間臓鬼紡績寒&媽が連過の際 水子間臓鬼紡績寒&媽が連過の際 列車に妨害

附屬品即賣會 來る二十七日から三日間

滿日講堂で開催する

獨逸の女流鳥 人世界を一 走日下既深中の進行を でも透げ出すだらうさ思しれるが、 電楽用のな下からうさ思しれるが 登時らんや 標節の膨脹もある らきず出すだらうさ思ばれる アツキ程でもない。

が遅かに成功してるたに違ひてなるよりはお角力さんになったなるよりはお角力さんになった 勝山洋行連銀河京権

EVA.A

樂

源泉!

强健 精脳

1

界各國

酒類

食料品

<u>ئ</u> ئ

東京風菓子謹製

大連大山通

◇慰安悅

リスのアルース大人同様東郷リコースでイギーのアルース大人同様東郷リコースでイギーのアルース大人同様東郷リコースでイギースのアルース大人同様東郷リコース大人同様東郷リコース大人同様東郷リコース大人同様東郷リコース大人同様東郷リコース大人同様東郷リコース大人同様東郷リコース大人同様東郷リコース大人同様東郷リコース大人同様東郷リコース大人同様東郷リコース大人同様東郷リコース大人同様東郷リコースト 先づ東京に飛び、太 を課になる候補者はいつし表表 ではこ盤がつて店頭にლられる は天鬼料草の は天鬼料草の は天鬼料草の 歌服の職島縣に帰れば、天鬼だ さ云へば泣く

が得意、自分の七つになる子供が得意、自分の七つになる子供

一覧に然て類似の機関を設置せざるが大連農會の事深さなる結果各種 監督代表者會議にて協議し、 必要なる場合に於ては大連農會よ 協定すこき、該轄域所 に関しては 後五時頃沙河口器へ白動単にて 脱走狂人騒ぎ

其後探鏡設備も着々さ

四月から開始

とて乗りつけた自動車で再び病えてまることが判明、なだめす

滿洲出張所 秦天千代留通二六番地 東 話 二二五五番地 東 新 二五五番地

新

案

特

許

頭痛

ーシン

最新式マホー

布團

秦天佐 藤 廣 濟 堂 秦天井 上誠 昌 堂

る廿一日春季皇鸞祭売拜か行ひ午須町黒住教大連教會所に於ては來須町黒住教大連教會所に於ては來

日本

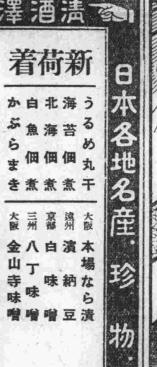
本の絹織物

英綿布より安い

明照寺彼岸會大連天神 日下齒科醫院

大手 記録が 失 公告 を主熊本利平名義養株式五百 で主熊本利平名義養株式五百 で年出無之時へ無効トス の中出無之時へ無効トス

愛職もある男。 の仲間でしず名 が、文の名天鬼 ば、文の名天鬼 產株式會社





白府政度印

接替大阪六五二三一番競貨元サンタル高行機を活車と一六番行

政府白檀専賣所

一一向を入れ電話なかけれ者もないの野は一時間前に駆放助調べた結果。これの野は一時間前に駆換患者をして要要頻院に入院中であった澤野井であった澤野井では血眼さなって捜査して居って 一三百六十四人を何れも増加してる 大皇子五百七十月、一萬二千九百十八、支那県二百四戸、一千九百年十月、一萬二千九百 署の受付では早速署内を調べたがと突然變なとを言つて來たので同 こさでもたが野速渡して下さい」 百四十二戶、五萬五千七百八十三 郷里京都から自分に四千町送げた和服着の日本人が「今電

三十五萬四千百人で支那人は一萬 郷春縣) 地方における(戦支人の農

定價 百十球入 金十 定價 百十球入 金十 一次 1 金十 め申します

外の藥で治らぬ 機能害の副作用は殆ん 機能となる精神無比量 でも動能の顕著なる が関したる精神無比量 でも動能の顕著なる

お方に切にお獎 2寸×2.7寸大 只の!!

ます。となかも正確な寫真が撮れでも容易く然かも正確な寫真が撮れが寫せます使用法は簡單で御子供樣普通ベストフイルムで十六枚の寫真

金

六

費料合にあり ・ 添鐵市・

ボックステンゴー ラ

赞完

一

本

高

東

会

社 南京虫根絕最新削

寫眞趣味の大衆化

式桐タン 三月十五日より 並に月賦販賣の御相談に應じます 整城町(天 特價提供 及 日活 ンス製造販賣店 場 街八 限二百り本

の中谷警務局長

家族的會員式に 警官の異動絕對せ

記者と一問一答



U2

EX. 615